

大阪の福祉を知る

みんなの情報誌

ウェルおおさか

vol.157

2025年 8月号
隔月発行(偶数月1日)

特集

支援者を、支援する

～健やかに働くために大切なこと～

- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内



支援者を、支援する

～健やかに働くために大切なこと～



福祉・介護の対人援助職に従事する支援者は、その役割のなかで疲弊感や孤立感を抱きやすく、仕事とプライベートの切り分けが難しいという課題があります。そのような状況に置かれると、燃え尽き症候群（バーンアウト）に陥りやすいとも言われます。

支援者支援とは、「誰かを支える立場にある人＝支援者」を支える取組みのことです。厚生労働省は、その意義について「支援者自身の苦しみを和らげるとともに、自身にその行為の意味を問い、対人援助の専門性を習得し、支援者としての資質の向上を図る」としており、その必要性を明確にしています。

そこで、今回の特集では、福祉・介護の現場における支援者支援の取組みや、大阪市社会福祉研修・情報センターで行っている、支援者同士が語り合う「よこいと座談会」の取組みを紹介します。このページでは、“支援者が安心して働き続けるためには、支援者そのものを支える仕組みが重要”という視点のもと、専門家に対談いただきました。

学識者とともに考える

特別対談 支援者支援のあり方とは

—支援者支援の必要性が注目されるようになったのは、いつ頃からですか。

吉田さん ▶ 「支援者への支援」は、2011年の東日本大震災の後から注目されるようになりました。その後、大きな災害直後や新型コロナウイルス感染症に対応するエッセンシャルワーカーなどへの支援が必要という認識も広まりました。

立花さん ▶ 医療や福祉の専門職の方々は震災などで被災したとしても、地域の被災者の支援に東奔西走しています。新型コロナ禍でも、緊急事態宣言発出中に、感染と隣り合わせの状況で感染者への支援を行う専門職の方が多くいました。平時においても、人材不足やニーズの多様化により、負担感が増している支援者を支えていく必要性が高まっています。

—これまで支援者へのサポートは、どのように考えられてきたのでしょうか。

立花さん ▶ 1990年以降、「支援者とい

うのは肉体労働と頭脳労働だけでなく、相手の感情に寄り添いながら、自分の感情を調整する“感情的な労働”も同時に行っている」という研究が日本でも認識されてきました。

ただ、東日本大震災頃までの支援者への支援は、肉体的な支援や物理的サポートなどに終始してきました。支援者の役割に注目が集まるようになり、「体と頭を休めるだけでなく、心の休息も不可欠である」という、科学的に証明された考え方が急速に広まりました。

最近では、心の負担感などを一緒に共感する必要性が重視され、メンタルサポートの部分にも力点が置かれるようになっています。

—今後、支援者へのサポートは、どのような形にしていけるべきでしょうか。

吉田さん ▶ 社会状況の変化で支援の対象は多様化し、また支援の質の向上も求められていま



関西学院短期大学 保育科
准教授 立花 直樹さん

社会福祉士、精神保健福祉士、教育カウンセラー、発達巡回相談員。複数の社会福祉法人や各種施設・事業所において監事・理事・評議員として経営に携わる。

す。これまで行われている研修や教育も支援者支援の一環ですが、その内容が実践に活かされ、支援者が仕事の意味ややりがいを見出すことができるようにすることが重要です。また、支援者自身にも伴走するような継続的な支援の仕組みが必要で、それこそが支援者支援の本質であると考えています。

立花さん ▶ 職場の取組みも大変重要です。困難な状況に置かれても、心身の状態を自ら整えながら働けるよう、「セルフマネジメント力」を育てる必要があります。また、休憩や気分転換の時間は、柔軟にとりつつ、しっかり確保することも



重要です。休憩や人とのコミュニケーションによって気持ちにゆとりが生まれ、それがサービスの質の向上につながります。可能であれば労働時間を短縮し、余暇を増やすことも有効です。

メンタル面の支援も欠かせません。例えば、「つらい時には相談できる」というカウンセラーや産業医がいれば、大きな安心になります。ただ、医療にまで至る手前での職場のサポート体制は、まだ十分とは言えません。しんどさを共有できる、気軽に相談に乗ってもらえるといった職場環境を整えることが重要です。

吉田さん▶一方で、支援者の側の“甘え下手”な面の改善も必要かもしれません。支援者としての振る舞いを気にするあまり、「利用者に弱みを見せられない」という意識が強いことがあります。SOSが出せないことや我慢を続けるうちに限界を超え、いきなり感情があふれて泣き出したりしてしまうこともあります。今置かれている状況は自分が一番分かるはずなので、そこをコントロールして“周囲に甘える”ことも、専門職として必要な力です。相談しやすい職場環境づくりを進めるうえで留意しておきたいところです。

一支援者を支援する取組みとして「ピアサポート(同じ課題や環境を体験する人が、その体験から来る感情を共有すること)」が注目されています。

吉田さん▶同じような境遇に置かれている人たちと“こんなところがいい”“こんなところがしんどい”といった話ができる場はとても大切です。自分を認めてもらえる承認の場になるからです。多様な形でのピアサポートが広がれば、自分

が居たい場所を探すこともできるようになります。

立花さん▶以前、大阪府内の社会福祉施設の職員さんに「仕事のやりがいとストレス、バーンアウト」についてのアンケート調査を行いました。その結果、職場での人間関係が良好なら「仕事にやりがいを感じる、仕事を続けたい」という回答が多く、うまくいっていないと「仕事を辞めたい」という回答になる傾向が顕著に出了ました。また、職場外で一緒に勉強や食事などができる仲間がいることも「仕事を続けたい」という回答につながっていました。

職場の中で支え合えることは、もちろん大切です。そのうえで、専門職が参加する研修での交流、職能団体でつながる専門職や地域の身近な専門職が集まる勉強会など、多様なつながりを持つことが支援者支援として有効になりうると考えます。

一大阪市社会福祉研修・情報センターでは「よこいと座談会」というピアサポートを行っています。講師を担当されていて、どのようなことを感じますか。

吉田さん▶「支援者を担う自分自身を解放できる場所」と思ってもらえる雰囲気づくりを意識しています。同じような境遇にいる仲間と語り合うことで、自身の気持ちを客観的に整理でき、「自分にこんな感情があるんだ」と冷静になることができる。参加者の「分かるわ～」と共



四天王寺大学 教育学部教育学科
准教授 **吉田 祐一郎さん**

社会福祉士、こども家庭ソーシャルワーカー、防災士。大阪社会福祉士会会長。子どもの居場所支援、障がいのある子どもの家族会のサポート、福祉教育などに携わる。

感し合う声などを聞いたたびに、このような場が、支援者支援の形として広まる必要性を感じています。

立花さん▶研修という堅苦しいイメージを崩して、気軽に話ができる場になるよう心がけています。現場で一生懸命努力されていることに共感し、感謝し褒めるところから話を進め、笑みがこぼれるような演習を行ったりもします。この「よこいと座談会」で出会った参加者が、後日、自主的に集まって交流する場に呼ばれたことがあり、支援者同士のつながりが広がっていく様子に、大きな可能性を感じました。

始まって数年の「よこいと座談会」は、参加者の口コミなどを通じて広がり、賛同の声が寄せられています。支援者同士でつながる場の重要性を、より多くの人に知ってもらえるように、この取組みを大切に育てていきたいと思っています。

仕事の課題や悩みを共有しながら、
つながりをひろげる交流会

「よこいと座談会」

参加／無料

会場／大阪市社会福祉研修・情報センター



〈中堅職員向け〉

●中堅職員わかちあい研修

～ひろがり、描き、想いをつむぐ「よこいと座談会」～
令和7年8月18日(月)13:30～17:00

〈管理職・リーダー向け〉

●管理職・リーダーのためのよこいと座談会

「みんなで考えよう!早期離職を防ぐ人財育成とは?」
令和7年9月26日(金)13:30～16:00

〈初任者向け〉

●福祉職場で働く新人職員のためのパワーアップ↑研修

～横のつながりをつくる「よこいと座談会」～
令和8年2月16日(月)13:30～17:00

申込受付中



申込受付中



詳しくは
P.10

メンタルヘルス相談 ▶ 仕事上のストレスから生じる悩みの相談窓口 お気軽にご相談ください

職員が安心して働き、自信を持って成長できる、きめ細かな支援体制

社会福祉法人 大阪福祉事業財団 人事教育部長 遠藤 佳代子さん

戦後間もない1948年に設立された大阪福祉事業財団では、保育、児童から障がい者、高齢者に至るまで、さまざまな社会福祉分野の事業を進めてきました。現在、大阪府下の広域で22施設と約100の事業を展開しています。職員数は約1,400名(2025年6月現在、契約・アルバイト職員を含む)にのびります。

職員の尊厳に配慮した、働きやすい職場環境づくり

多数の福祉・介護職が働くなかで、整えてきた職員(支援者)へのサポート体制について、人事教育の管理を担当する遠藤さんに伺いました。

「福祉の現場で働き始めた新人職員には“生活の困難さや、生きづらさを抱える人たちに寄り添う”という経験も、その状況を受け止めるキャパシティも、まだ十分には備わっていません。だからこそ、一人で抱え込まず、チームで働くことや、実体験を通して学ぶことが大切です」と遠藤さん。「新人職員は分からなくて当然です。そこから一緒に考えていく環境を整えることが支援者支援の出発点。“福祉の仕事をしたい”と志高く入職した人に仕事のやりがいや楽しさを感じてほしい。そんな願いを込めて支援者のサポートに取り組んでいます」と続けます。

長い歴史を持つ大阪福祉事業財団が

整えてきた「支援者支援」について、代表的なものを紹介します。

職員ごとに成長をサポート 「職員育成制度」

全職員を対象に「懇談シート」を配布。年2回(前期は直近上司、後期は管理職)の面談で、懇談シートに記された年次ごとの職員個人の目標と、組織が求める年次ごとのスキルや知識などが示された“キャリアパス”とのすり合わせを行います。面談を通して、仕事に悩む職員には明確な指針を得られるようサポートし、職員自身の将来展望が見いだせるよう支援します。

目標が明確に定められた 「キャリアパス」

職種や役職、その中の役割に沿って、それぞれの立場を果たすために必要な「職務基準」を具体的に示した「キャリアパス」を策定。職員は自身のキャリアアップの目標として、日々の職務に取り組むことができます。

自信が身につく 「OJT制度(On the Job Training)」

1年目の職員には、2～3年目のOJT担当職員が付き、相談しやすい環境を整えます。また、実際の業務を通じてOJT担当職員が知識やスキルをアドバイスします。1年目の職員には心強く、先輩職員はOJT制度で助けられた経験を1年目の職員にアウトプットすること



で、お互いの成長につながっています。

施設の魅力を、全力で発信する 「施設リクルーター」

コロナ禍以降、福祉系学校などの教職員との連携を強化しています。福祉の仕事の魅力を発信する「施設リクルーター制度」で選ばれたリクルーターが、養成校懇談会などの機会に、実践発表や寸劇を通じて財団の取組みをアピール。教職員からの信頼も得られていて、施設リクルーターに選ばれることが、職員にとっての励みや誇りにつながっています。



「当財団の細分化した研修をはじめ、さまざまな支援制度を利用して、職員が安心してひとり立ちができるように成長を応援しています」と遠藤さん。「職員の不安をいかに解消し、定着につなげていくかという課題は続きます。支援のあり方を日々更新しながら、人材の確保・定着・育成に努めていきたい」と話しました。

職員さんの声を聞きました!

社会福祉法人大阪福祉事業財団
すみれ保育園
保育士 中川 歩美さん

とても不安だった1年目、 先輩の支えに救われました

入職1年目は、本当に右も左も分からず試行錯誤する毎日でした。0歳児クラスの担任でしたが、臨機応変にテキパキ動く先輩たちを見て、できていない自分は不安でいっぱい。そんな時、OJT制度で私を担当していただいた先輩から「私も一緒やったよ。そんな時はこういう風にしたら良いと思うよ」などと具体的にアドバイスをいただけたことが、大変励みになりました。今は後輩にアドバイスする立場です。少しでも不安を解消できるように、積極的に声かけなどを行っています。



▲保育園「なつまつり」イベントにて 中川さん(左)

職員のサポートを多角的に実践する、 「ユースエール認定企業」の取り組みとは

社会福祉法人 亀望会 特別養護老人ホーム江之子島コスモス苑 副施設長 生活相談員 介護福祉士 大槻 貴志さん

「社会福祉法人亀望会」は、特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、地域包括支援センターなどを幅広く運営し、法人全体で約140名の職員が勤務しています。その中でも、人材※に関する取り組みの中心的役割を担う「江之子島コスモス苑」の副施設長、大槻さんにお話を伺いました。「法人としては以前から、人材※の確保・定着・育成を重点課題として取り組んできました。そこで常に意識してきたのが“支援者支援”のあり方でした」と大槻さん。

亀望会が進める「支援者支援」に関する代表的な制度をいくつか紹介します。

■キャリア・ラダー

職員の役職や経験年数に応じて、法人が求める役割やスキルを具体的に表し、各職員が能力開発に向けて取り組むべき課題を明示。目標基準をわかりやすく示し、キャリアアップへの意欲向上をうながします。

■ケアプロ制度

一定の基準をもとに、介護職員の実践的な能力を3段階で評価し、評価レベルに応じて処遇改善手当を支給。介護の専門性や実践力の向上をめざす職員のモチベーション向上につなげます。

■キャリアアップ支援制度

「仕事に関連した知識・技能を身につけたい」という職員が、資格取得などをめざす際に、資格取得祝い金、自己啓発支援金、プレミアム自己啓発支援金などを支給。自己啓発やキャリア形成を促進し、組織活力の強化を図ります。

さらに、定期的に行う面談で、職員の悩みなどを聞き取り、必要に応じて職場



▲左から、川村さん、鴨井さん、大槻さん

の異動などにも柔軟に対応。キャリアアップをめざす職員の目標設定などのアドバイスも丁寧に行っています。



これらの取り組みが評価され、若者の採用・育成に積極的で雇用管理の状況などが優良な中小企業に認められる「ユースエール認定企業(厚生労働大臣

認定)」に、昨年認定されました。

大槻さんは、「福祉・介護の職場をもっと働きやすく、魅力ある場にしていきたい。そのために、まず法人内に支援者支援の制度があることを職員に周知し、もっと制度を活用してもらおう。そして、外部にも積極的に発信していくことが重要であると考えています」と話しました。

職員さんの声を聞きました!

介護主任 鴨井 雅俊さん

自己啓発、同好会活動など 支援制度を活かし毎日が充実

入社した当初は、人間関係をうまく築けるか不安でした。そんな時に、職員が親睦を深めるための同好会制度を知り、アウトドア活動ができる同好会に入りました。先輩が上下関係なく接してくれて居心地が良く、気分転換になりました。同好会活動で他部署の方ともつながれたことで、主任になった今の業務に役立つことも多く、同好会の意義を感じています。また、「社会福祉主事」の資格取得に必要な研修を神奈川県で受講する際、宿泊費、交通費が結構な額になったのですが、「プレミアム自己啓発支援金」による補助があり、大変助かりました。

介護副主任 川村 千尋さん

ライフステージの変化を 見据えた支援がうれしい

職場には、産休育休を取得したり、育休明けで時短勤務をしている同僚がいます。保育園に預けられる時間は限られるため、介護職のシフトを考えればこの制度は必要です。妊娠、出産、育児をしていく際に、制度を活用している職員が周りに多くいることは、女性として心強いと感じます。今後は、ライフステージの変化に合わせて、法人内で職種を変えることも視野に入れています。自己啓発支援金の制度も活用しながら、ケアマネジャーの資格取得にも挑戦したい。それを支えてくれる環境があることは、やはりありがたいです。

※人材=「人材」は法人の財産であるという考え方

特集まとめ 「支援者を、支援する」

今回、「支援者支援」をテーマに、二つの施設取材しました。どちらも支援制度が充実しており、職員の声からも職場環境の良さがうかがえました。人材不足が課題の今こそ、施設・事業所の支援制度が「支援者支援」につながっているかを再確認することが重要です。また、巻頭ページで専門家が語っていたように、支援者自身がバーンアウトな

どに陥らないための予防策を知ること大切です。頼れる上司や職場の仲間に相談する、研修などでセルフケアを学ぶ、福祉・介護関連のイベントなどに参加し情報収集を行うことも有効です。こうした取り組みを通じて、支援者自身が誇りを持って働き続けられる環境が、より広がっていくことを願っています。

福祉・介護の現場で「アシスタントワーカー」活躍中!

アシスタントワーカーとは?

介護施設等において掃除や食事の片付け、洗濯、物品の補充等、直接介助に携わらない業務を担当する“介護職場の人材”です。

今年度の取組み、いよいよ本格始動!

集合研修では、各施設の担当職員同士がグループワークを通じて、情報共有や意見交換を行いました。

『なぜこの事業に取り組もうと思ったのか?』

『この事業を通して、どんな課題に向き合いたいのか?』

『自分たちの施設で、どんなケアを目指したいのか?』といったテーマで、施設を越えて率直な意見交換が行われました。

最初は緊張した面持ちだった参加者のみなさんも、回を重ねるごとに表情が和らぎ、年齢や役職を越えた“仲間”としての関係が育まれています。他の施設の意見や視点にふれることで、新たな気づきやヒントを得ることができます。

1年間の取組みを通して、より良い職場環境づくりをめざしていきましょう!



▲グループワークの様子

アドバイザー紹介 (今年度も継続してご担当いただきます)



株式会社エクセレントケアシステム 執行役員 人材開発部 部長

公益財団法人介護労働安定センター 雇用管理・人材育成コンサルタント 柴垣 竹生氏

大手生命保険会社勤務後、1999年に介護業界に転じ、上場企業および社会福祉法人において数々の要職を歴任。公益財団法人介護労働安定センターを中心に、介護事業マネジメントに関するコンサルティング・講演の実績多数。兵庫県立大学大学院(MBA)非常勤講師も務める。近著に『老いに優れる』『介護現場をイキイキさせるマネジメント術』がある。

柴垣先生による事業の解説は「ウェルおおさか」
2024年10月号【Vol.152】に掲載しています!

【Vol.152】2024年 10月号
アシスタントワーカー導入のススメ
～職場環境改善と人材確保～



個別訪問の様子(6月)



社会福祉法人 まんてん

特別養護老人ホーム
らんまん鶴見

〒538-0053

大阪市鶴見区

鶴見5-2-10

☎06-6933-8830



社会福祉法人 日本ヘレンケラー財団

障害者支援施設
アテナ平和

〒545-0003

大阪市阿倍野区

美草園3-7-2

☎06-6629-2062



社会福祉法人 ほしの会

特別養護老人ホーム
ライフカーサ

〒557-0034

大阪市西成区

松3-12-35

☎06-6661-0999



大阪市立総合医療センター

第19回小児医療センター講演会 **WEB開催**

知りたかった! 子どもの手術のいろいろ

配信期間 8月15日(金) 12:00から 8月29日(金) 12:00まで

プログラム

- ①小児泌尿器科手術の新たな幕開け:
おしもの手術からロボット支援手術まで……………小児泌尿器科部長 石井 啓一
- ②小児外科の日常疾患から最新治療まで……………小児外科副部長 高間 勇一
- ③『個性』を『笑顔』に—口唇口蓋裂治療の今—……………形成外科医長 口唇裂・口蓋裂認定師 能登 まり子

視聴方法 下記①から③のいずれかの方法にてご視聴ください

- ①病院のホームページへアクセス [大阪市立総合医療センター](http://www.osakacit.jp/) **検索**
- ②右のQRコードからアクセス
- ③右記視聴用URLを直接入力でも可能です <http://onl.tw/qDdEWP8>



市民の皆さまに向けた講演です。視聴は無料です。ふるってご視聴ください。

市民医学講座 **入場無料**〈定員250名〉手話通訳あり

古くて新しい 結核と結核の仲間のお話

開催日時 8月30日(土) 14:00~16:00(開場13:30)

場所 大阪市立総合医療センター さくらホール
大阪メトロ谷町線「都島」駅下車、2番出口から西へ徒歩3分
JR環状線「桜ノ宮」駅下車、東出口から北東へ徒歩7分

講座内容

- ①結核のこれまで、今、そしてこれから……………感染症内科部長 白野 倫徳
- ②結核の仲間、非結核性抗酸菌症が今増えています……………感染症内科 森田 諒

事前の申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

問合せ 大阪市立総合医療センター 地域医療連携センター
〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22 ☎06-6929-1221(代表)



大阪市立十三市民病院 **申込不要** **無料** **マスク着用**

〈いきいき健康セミナー〉
**認知症のサイン、
見逃していませんか?
～関わり方のポイント～**

認知症看護認定看護師 江口 啓子
認知症看護認定看護師 大本 真紀子

日時 8月19日(火)
14:00~15:00(開場13:30)

場所 十三市民病院 9階 すかいルーム

〈JUSO ふれ愛広場〉
**「鍛えよう! 骨盤底筋」
～骨盤底筋体操～**

日時 9月12日(金) 15:00~16:00
十三市民病院 2階 集団指導室

問合せ

大阪市立十三市民病院 地域医療連携室
〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-12-27
☎06-6150-8000(代表)

講座案内

市民向け講座

大阪市内在住、在勤、在学の方

講座名	日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
介護実習講座 入門コース 土曜日クラス(9月)・ 水曜日クラス(10月)	【土曜日クラス】 9月13日・20日・ 27日 14:00～16:00 【水曜日クラス】 10月1日・15日・ 22日 10:00～12:00	大阪市内に在住・在勤・在 学の方で、高齢者の介護に 関心があり、指定された日 程を休まず受講できる方 ※現在介護のお仕事をさ れている方は、ご受講 いただけません	介護福祉士	初めて介護する方を対象に、家庭での介 護の知識や技術を体験いただき、介護へ の関心や理解を深めます。 【テーマ】 2クラス共通 1日目 介護保険制度の説明、ベッド上での 体位変換、車いすの使用方法 2日目 高齢者の心と身体の変化、食生活、 口腔ケアと口腔体操、着脱介助 3日目 認知症の理解、清潔介護(足浴など)	定 員:20人(先着順) 受講料:500円(資料代) ※受講初日に現金で申し受け ます

福祉従事者向け研修

申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
精神障がいのある人と 家族への支援 実践講座	9月2日(火) 10:00～16:30 10月6日(月) 11月6日(木) 12月15日(月) 13:30～16:30	大阪市内の福祉施設・事業所 に勤務する職員	武庫川女子大学 専任講師 清水 由香	精神障がいのある人とその家族の支 援をしていくうえで必要なストレン グス視点に基づく基礎理論と技術を学 びます。	定 員:15人 締 切:8月6日(水) 受講料:7,500円
福祉人材受入・定着 支援研修 「外国人も日本人も 「働きやすい」 職場を つくる」	8月26日(火) 14:00～16:30	外国人を雇用している、または 雇用に興味のある大阪市内 の福祉施設・事業所に勤務す る職員	Aoyama Hope Academy 副校長 Aoyama Medical Group 日本語教育統括 阿部 卓史	介護職場の人材不足に対応するた め、外国人人材が安心して働き続ける ことのできる環境を整備し、受入側の 事業所と外国人人材、関係機関等が 良好な関係を構築できるよう職場とし ての対応策について学びます。講演、 実践報告、交流会の三部制です。	定 員:20人 締 切:8月8日(金) 受講料:無料
よこいと座談会 (中堅職員)	8月18日(月) 13:30～17:00	大阪市内の福祉施設・事業所 に勤務する入職後おおむね3 ～5年程度の職員	関西学院短期大学 准教授 立花 直樹 四天王寺大学 准教授 吉田 祐一郎	日々の業務や人間関係、後輩指導など、 中堅職員としての課題や悩みを共有し、 同じ立場の職員同士で情報交換を行い ながら、横のつながりを広げます。	定 員:30人 締 切:8月7日(木) 受講料:無料
パワーポイントDE プレゼンテーション 研修	【パワーポイント編】 9月 3日(水) 10:00～16:30 【プレゼンテーション編】 9月 9日(火) 10:00～16:30	大阪市内の福祉施設・事務所 に勤務する職員	京都光華女子大学 短期大学部 教授 森際 孝司	パワーポイントの基本操作、効果的な 資料の作り方、プレゼンテーションの テクニックを学び、自分の伝えたい情 報を「効率よく・正確に」相手に届ける スキルの向上を目指します。	定 員:各20人 締 切:8月20日(水) 受講料:各3,000円
よこいと座談会 (管理職員)	9月26日(金) 13:30～16:00	大阪市内の福祉施設・事業所 に勤務する管理職、チーム リーダー、それらの役割を担 うことが想定される職員	ふくしと教育の実践 研究所 SOLA 主宰 新崎 国広	マネジメントや人材育成、職場の方向 づけなど、管理職・リーダーとしての課 題を共有し、同じ立場の職員同士で情 報交換を行いながら、横のつながりを 広げます。	定 員:36人 締 切:9月12日(金) 受講料:無料
リスクマネジメント 研修 (管理職員・保育・児童)	10月22日(水) 13:30～16:40	大阪市内の主に保育・児童分 野の福祉関係施設・事業所に 勤務する管理職員(施設長の 他、リーダー・主任も含む)	大阪教育大学 健康安全教育部 教育学部教員養成課 程家政教育部門 教授 小崎 恭弘	管理職員に求められるリスクマネジメ ントの意義を理解し、職員の職業倫理 を再確認するとともに、職員育成など の留意しておかなくてはならないポイ ントなどを学びます。	定 員:36人 締 切:9月24日(水) 受講料:1,500円
財務管理研修	【入門編】 10月 7日(火) 10:00～16:30 【基礎編】 10月21日(火) 10:00～16:30	【入門編】大阪市内の福祉施設・事業所の経理実務担当者 で会計を初めて学ばれる方 【基礎編】大阪市内の社会福 祉法人の財務担当者	シェア税理士法人 社員税理士 林 竜弘	【入門編】貸借対照表の見方、資金収 支計算と支払資金について、事業活 動計算と損益計算の考え方等 【基礎編】財務分析の基礎、事業計画 と予算等	定 員:各30人 締 切:9月8日(月) 受講料: (入門編)3,000円+ テキスト代700円 (基礎編)3,000円
福祉職員の メンタルヘルス研修 (ラインケア)	10月8日(水) 10:00～16:30	大阪市内の社会福祉施設・事 業所に勤務している主任・ リーダー・管理職員	フェリアン 副所長 津村 薫	職場でのメンタルヘルスケア対策にお いて、直属の上司など管理監督者が、よ り良い職場づくりやリーダーシップ、職 員のメンタルヘルス不全にいち早く気 づき、適切に対応する方法を学びます。	定 員:54名 締 切:9月1日(月) 受講料:3,000円
スーパービジョン研修 ※介護支援専門員 法定外研修	10月29日(水) 11月 5日(水) 11月11日(火) 13:30～17:00	大阪市内の福祉施設・事業所に 勤務する主任・リーダー・管理 職(候補者・予定者の受講可) なお、法定外研修については大 阪府下の事業所も申込可	大阪総合保育大学 短期大学部 (大阪城南女子短期大学) 現代生活学科 教授 前田 崇博	スーパービジョンの理論と方法を具 体的に学び、コーチングできるスキル を身につけます。 また、自分自身の持ち味(性格)を活か したスーパーバイズの方法も学びます。	定 員:48人 締 切:10月7日(火) 受講料:4,500円

★日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

申込み・
問合せ先

研修の申込み方法▶ 当センターのホームページから申込み、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください
市民向け講座のみ電話でも受け付けます

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

☎06-4392-8272

🌐<https://www.wel-osaka.com>

✉kensyu@shakyo-osaka.jp



図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報



図書紹介

社会的孤立へのコミュニティソーシャルワーク実践 地域福祉推進の羅針盤(新・MINERVA福祉ライブラリー)

加藤 昭宏 著 ミネルヴァ書房 2025年

社会的に孤立した状況にある人々への支援の必要性が高まる一方で、その実践理論や方法論は十分に精緻化されていない。筆者自身の複数の社会福祉協議会での実践経験をもとに、コミュニティソーシャルワーク実践と重層的支援体制整備事業の効果的な展開のあり方を探る。



新訂 書くべきことをもらさない! 記載例で学ぶ 居宅介護支援経過 令和6年改定対応版

後藤 佳苗 著 第一法規 2025年

「居宅介護支援経過(第5表)」について、相談支援業務(ケアマネジメント)と法的根拠(コンプライアンス)の両面から記載すべき事項を分かりやすく解説。身体的拘束やカスタマーハラスメント対策など、新たに権利擁護の視点も盛り込み、令和6年度介護報酬改定に即した新訂版。



障害のある人の暮らす権利 ともに歩む支援者たちへ

田中 智子 ほか 編著
フリエイツかもがわ 2025年

入所施設・グループホームなどで暮らす人は、いまや30万人を超える。家族からの自立、意思決定、子育て支援、触法、強度行動障害など「暮らしの場における専門性」の理論化の到達点。支援の現場での悩みこそが専門性を育む。暮らしに寄り添い続けるすべての支援者へ。



ひとり暮らし認知症高齢者の「くらし」を考える 継続と限界のはざまで

中島 民恵子 ほか 著
フリエイツかもがわ 2025年

ひとり暮らし認知症高齢者の「くらし」をよりよくするための調査研究や事例検討、本人の思い、苦勞、直面する課題とその工夫について詳解。また、当事者本人が語る、過去・現在・未来から、認知症とともに生きる共生社会の原点を探る。



DVD紹介

全国共通 初心者のための介護入門

十影堂 40分 2024年

超高齢社会を迎えた日本において、介護は誰にでも起こりうる現実。介護初心者が介護について学ぶ入門DVD!いざ介護をする場面が訪れた時、どこから手をつければ良いのか、どんなスキルや知識が必要なのか、介護の基本から具体的な技術までをわかりやすく解説。



レク担さん必見 もう悩まない! 笑顔を引きだす 介護レク入門 厳選15のレク

BABジャパン 40分 2024年

悩めるレク担さんの強い味方になるDVD!日常生活動作の向上、関係づくり、脳の活性化、etc. 現場のベテランが厳選した、スグに使える15の介護レクを収録。レクの意義や注意点もしっかり盛り込んであるので、レク研修指導者の教材としてもオススメ!



いまダンスをするのは誰だ?

コスモボックス 114分 2024年

仕事一筋で家庭を顧みなかった主人公が、ある日40代で若年性パーキンソン病と診断され、病をきっかけに出会った人たちや「ダンス」を通じて、自らの生き方を見つめ直していく...。2009年にパーキンソン病と診断されたシンガーソングライターが主演を務めたヒューマンドラマ。



あの日のオルガン

中央映画貿易 119分 2021年

太平洋戦争末期、20代を中心とした若手保母たちが、子どものいのちを守るため、53人の園児を連れ、集団疎開を敢行した「疎開保育園」の事実はあまり知られていない。幾多の困難を乗り越え、託されたいのちを守りぬこうとするヒロインたちの奮闘を描いた真実の物語。



毎週金曜日の開館時間を午後7時まで延長しています。ぜひご利用ください!



大阪市社会福祉研修・情報センター2階の図書・資料閲覧室では、福祉に関する図書・DVD・ビデオなどを、無料で貸出してあります。(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉の関係の雑誌などが充実しています。)

開室時間／月曜日～木曜日・土曜日 9:30～17:00、金曜日 9:30～19:00

利用資格／貸出し期間(2週間)内に、来館しての返却が可能な方

休室日／日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始

問合せ先／☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります



新着情報はこちら▲

生活習慣病予防のため 特定健診を受けましょう！

大阪市国民健康保険では高血圧症や糖尿病などの生活習慣病の予防や早期発見のため、特定健診を実施しています。

私たちの健康をおびやかす、心臓病や脳卒中、糖尿病などの生活習慣病は、ほとんど気がつかないうちに進行するので、身体の状態を確認するために毎年の健診が欠かせません。毎年健診を受け検査値の変化を見ていくことで、しのび寄る生活習慣病に気づき、早めに対応できるのです。

対象となる方には「受診券」をお送りしていますので、ぜひ特定健診を受けましょう！



対象者	40歳以上的大阪市国民健康保険被保険者 (来年の3月31日までに40歳になる方を含みます)
受診場所	① 府内取扱医療機関 ② 各区保健福祉センターや地域の小学校等の集団健診会場
検査内容 (基本的な項目)	身長・体重・腹囲・診察・血圧測定・血液検査(脂質・肝機能・血糖・腎機能)・尿検査
費用	無料
必要な物	受診券・マイナ保険証※・個人票

※マイナ保険証をお持ちでない方は、資格確認書または経過措置による保険証をお持ちください。

※受診券がお手元に届いていない場合や紛失された場合は、お住まいの区役所の保険年金業務担当窓口で再発行できます。

※75歳以上の方は、後期高齢者医療健康診査を受けましょう。

問合せ▶ 大阪市福祉局保険年金課(保健事業グループ)
☎06-6208-9876 ☎06-6202-4156

今月の自助具

冷蔵庫内ミラー

主な適応疾患・対象者▶ 車椅子の方・背の低い方

- 〈機能・特徴〉
- 冷蔵庫庫内の奥を、ラウンドしたミラーで写し出すことができる
 - ミラー本体は3DCADで設計し、3Dプリンターで本体を製作し、鏡面シートを貼りつけた
 - 冷蔵庫の大きさや、使う人に合わせて大きさや角度を調整できる
- 〈使い方〉
- 冷蔵庫庫内の天井や棚板裏側に貼り付けることで、奥に置いてある物を見ることができる



ミラー本体はデータ上で大きさや形状を変えられる



資料提供・問合せ▶ 特定非営利活動法人 自助具の部屋
☎☎06-4981-8492 (月・水・金 10:00~15:00)
NPO自助具の部屋ホームページ▶

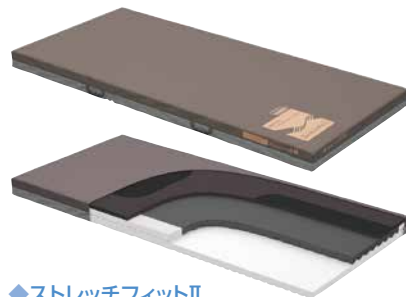


健康生活

応援グッズ

睡眠を快適に

背上げをおこなうケアのために
進化したストレッチマットレス



◆ストレッチフィットⅡ

背上げをするときには、マットレスが伸びるとともに、クッション材とカバーの間が滑ることで、身体の不ぞろいと圧迫感を軽減します。また、寝ているときには、優れた体圧分散性能を発揮します。

理想の寝姿勢を実現する
高密度連続スプリングを採用



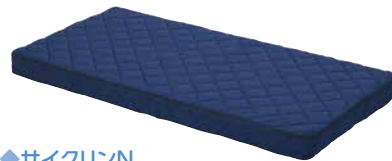
ラテックス



ウレタン



プレスエアー



◆サイクリンN

マットレス面全体で身体を支え、極端な沈み込みを抑え無理のない寝姿をキープします。寝心地に関わるソフト層は、ラテックス・ウレタン・プレスエアーの3種から選べます。

Web(クモの巣)から生まれた
新発想の体圧分散マットレス



◆ウェブリーマットレス

クモの巣のように、硬い縦糸で沈み込みを抑え、柔らかく弾力のある横糸で体圧をしっかり分散する高機能のマットレスです。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会
介護情報・研修センター福祉用具展示場
〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15
大阪府社会福祉会館1階

☎・☎06-6763-1480
HP <https://kansil.jp>

募集!!

あなたの周りに 眠っている古本はありませんか?

8月に開催する「リサイクルブックフェア」の古本を募集しています!

- 本、絵本、マンガなどジャンルは問いません。何冊でもOK!
- 読めないほど傷んだ本の寄贈はご遠慮ください。
- 寄贈していただいた本は返却できません。
- 募集締切／8月21日(木)
- 受付場所／大阪市社会福祉研修・情報センター 1階 事務所／2階 図書室



古本立ち読みコーナー

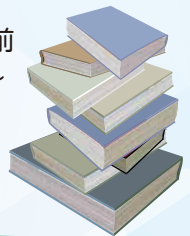
- 開催場所／1階 エントランス
- 設置期間／8月1日(金)～8月21日(木) 15:00まで



リサイクルブックフェア

「古本立ち読みコーナー」の古本を
無料でお持ち帰りいただけます!

- 開催場所／2階 図書・資料閲覧室前
- 開催期間／8月22日(金) 10:00～
28日(木) 15:00まで



どんな広告を
作ればいいのか
悩む...



何年も使っている
冊子を
新しくしたい!



内製している
チラシの評判が
よくない...



クリエイティブ関連のお悩み解決は
「ウェルおおさか」も制作している
アド・エモンにぜひお任せください!!

チラシ

パンフレット

小冊子

カタログ

会社案内

各種PRツール

取材・撮影

印刷

アニメーション動画



納得のご予算でお客様のイメージを
トータルでカタチにします!!

TOTAL CREATION
AD-EMON

株式会社 アド・エモン

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-23 丸丹ビル306号
TEL 06-6358-1010 FAX 06-6358-1011 info@ad-emon.com

<http://www.ad-emon.com>



〔広告〕

大阪市社会福祉研修・情報センター

メンタルヘルス相談

(オンラインでの相談も可能です)

疲れやすい、やる気が出ない、眠れない、
対人関係がうまくいかない…。仕事上の
ストレスなどから生じる悩みの相談窓口で
す。ご本人からだけでなく、同僚や上司の
方からのご相談も受け付けています。



相談・予約電話

秘密厳守 相談無料

ハローサンキュー

06-4392-8639

対 象／大阪市内在住またはお勤めしている福祉職員

相談方法／電話・オンラインまたは来所

相談日時／毎週土曜日と第1・3水曜日

いずれも9:30～16:00

※予約に関する問い合わせは、平日でも受け付けています。

相談員／臨床心理士

詳しくはウェルおおさかホームページで▶

<https://wel-osaka.com/mentalhealth>



大阪市内の社会福祉施設を対象としたメンタルヘルス
に関する出張研修を行っています
当センターへご相談ください。(☎06-4392-8201)

CENTER INFORMATION 大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内

開館時間／9:00～21:00まで(土・日曜日は9:00～17:00まで)

図書・資料閲覧室は9:30～17:00まで(月～土曜日)※毎週金曜日19:00まで

休館日／国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

項目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の 問合せ	06-4392-8200	9:00～21:00(土・日曜日は17:00まで) (会議室の申込・お支払いは9:30～17:00)
研修関係の 問合せ	06-4392-8201	9:00～17:00
図書・資料閲覧室の 問合せ	06-4392-8233	9:00～17:00



貸室ご利用の皆様へ

貸室予約がオンラインで24時間パソコンやスマートフォンから可能となりました。

ホームページの【貸室のご案内】よりログインし、ご予約ください。

初めてご利用される方は、事前にお問合せください。

[ウェルおおさか](#) [Q 検索](#)

利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、インターネットでの予約、または電話や窓口でご確認のうえ所定の用紙でお申込みください。
電話や窓口での受付は、9:30から17:00まで。

☎06-4392-8200

FAX 06-4392-8206

※インターネットでの予約可能な期間は、利用日の6か月前から利用日の1週間前までです。
FAXでの申込み可能な期間は、利用日の6か月前の9:30～利用日の3日前までです。
詳しくは、ホームページの【貸室のご案内】をご覧ください。

会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。

ご予約は利用日の6か月前からです。

(単位:円)

時間区分			午前 9:30～12:30	午後 13:00～17:00	夜間 18:00～21:00	全日 9:30～21:00
室区分	利用人員のめやす					
4階	会議室	99	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	45	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	54	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	18	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400

交通

ご来所には【大阪シティバス】【JR】【大阪メトロ】をご利用ください

大阪シティバス

「長橋二丁目」バス停すぐ

52系統(なんば～あべの橋)

「中開三丁目」バス停徒歩5分

80系統(鶴町四丁目～あべの橋)

JR大阪環状線・大和路線

「今宮」駅から徒歩約10分

大阪メトロ・四つ橋線・御堂筋線

「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分

「大國町」駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地／〒557-0024

大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体／大阪市

運営主体／(指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電話／☎06-4392-8200(代表)

ファックス／FAX 06-4392-8206

URL／<https://www.wel-osaka.com>

Facebookもチェック



X(旧Twitter)もチェック



「ウェルおおさか」に
広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください…

大阪市社会福祉研修・情報センター

☎06-4392-8201

FAX 06-4392-8272

✉kensyu@shakyo-osaka.jp



人権啓発キャッチコピー

【テーマ】いじめ問題

つらいとき ぼくがはなしを きくからね

北 一稀さん(令和6年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 小学生(低学年)の部 優秀賞)